

障がい者の方々に社会参加の場として農業を！

(東京グリーンシステムズ株式会社)

<法人の概要> 所在地：東京都多摩市

設立：平成4年12月

資本金：10,000万円

売上高：48,370万円（平成25年度）

（うち農業及び農業関連事業：906万円）

役員：8名（うち農業従事者1名）

従業員数：常時雇用者89名（うち農業従事者9名）

臨時雇用者29名（うち農業従事者7名）

経営面積：1.4ha（神奈川県相模原市） 営農作物：露地野菜

農業開始時期：平成23年8月



農作業の様子①



農作業の様子②

<農業参入に至った経緯・動機>

・働く意欲のある障がい者の方々に社会参加の場を提供し、自立への支援を目的に、SCSK株式会社（ITサービス企業）、東京都、多摩市の共同出資による第3セクター方式での「重度障がい者雇用モデル企業」を設立（SCSK株式会社を親会社とする特例子会社）。

・設立当初は、親会社から受注するオフィスサービス業務や売店・喫茶運営業務などを行っていたが、「農業」の定常作業に着目し、障がい者雇用の職域確保のため、平成22年にアグリ部門を組織化。

・社内敷地での小規模な露地栽培・イチゴ栽培から開始し、本格的な営農を目指すため、リース方式による農業参入を決意。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

・作物選定に当たっては、障がい者の職域確保と作業の定着を目指し、年間を通じて繁閑の差が少ない営農計画とし、作り易く、売れるものを大量に生産できるものとして露地野菜を採用している。

・参入を決意してから会社所在地を中心に農地を探したが希望物件が見つからず、相模原市農業委員会の協力を得て農地の利用権設定（約29a）を受け、営農開始に至った。

<営農開始から現在まで>

- ・栽培技術については、グループ会社の農業生産法人の解散により農業技術者が当社に転籍し、指導にあたっている。
- ・アグリ部門で従事する障がい者は9名で、毎日7人程度が圃場で作業を行っている。
- ・現在、ジャガイモ、人参、タマネギ、カボチャ、サツマイモなどの露地野菜を栽培。
- ・販路については、東京都多摩市内の食料品店に常設されている野菜売場での販売が主で、自社で運営する売店やイベントでも販売している。
- ・耕作放棄されていた農地を借り受けていたため、除草や土作りにも相当の手間と時間をかけたが、その努力が地域の方々にも認められ、多くの地権者から農地提供の申し出があり、経営規模が拡大してきている。
- ・ジュースなど自社生産した農産物の加工（外部委託）にも取り組みはじめている。

<今後の農業経営の展開方向>

- ・一定程度の採算が見込める経営規模まで拡大を目指すとともに、露地野菜の各品種大量生産による定常作業確保を図っていくなど、農業収益の向上と障がい者の職域確保とのバランスをとることが重要と考えている。
- ・神奈川県立かながわ農業アカデミーの卒業学生など、地元雇用も積極的に行っていきたい。
- ・青果の販路開拓とは別に、自社運営の EC サイトの活用など企業独自の IT を活用した販売展開も含め、加工品の企画から販路や販売方法に至るまで新たな戦略を構想中。

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

- ・単なる農業技術者ではなく、経営方針を理解した上で営農計画を立て、実行できる経営感覚をもった人材が必要不可欠。



社内売店（多摩センター）



収穫祭での販売の様子